



「子育て(人育て)に遅いことはない、いくつになっても気づいた今からが第一歩」

一ゆりの樹の目指す人間像「すべての人が心と体が健康で、謙虚で、素直で、正直で柔軟性と勇気を持ち、自己決断ができる人」に育っていくように願って・・・

共に新たな一歩を踏み出しましょう!・・・出発!!ー

園長 高杉美稚子

サクラの花が春を告げ、いよいよ平成最後の新学期 一か月しかない平成31年度の4月の始まりです。どんな元号になるか、このゆりの樹通信が届くころには発表になっている、まるで卒園と、入園の時と同じような、嬉しさと懐かしい思い出を繰る寂しさとが入り混じった、いつもとは違う春の訪れです。そして、今年も新しい園児達とめぐり合い、保護者の方と出会い、この素晴らしい、教育の場での仲間が今、ここにめぐり合ったことに心から感謝致します。

さてどんな新しい時代にするか、それは・・・人生も含めて一瞬先のことも私たち自身には分かりませんね。だからこそ、この一瞬一瞬を大切に生きていくことが大切だと思います。そしてその一瞬一瞬の積み重ねが意味ある新しい歴史を築いていくことになるのでしょうか。そしてどんなに、その一瞬一瞬を大切に生きたとしてもどんな結果になるかは定かではありません。だから誰も不安になるのは当たり前です。当たり前だからこそ、その不安を受け止めて、すべてのことを受け止めるしかないのですね。

そして起こったことを後悔するより、たとえ、どんなに辛いこと、苦しいこと悲しい出来事でも、そのことがあったからこそ、よかったと、学ぶことが出来た、成長できたと、その過去に感謝することが出来たら、そして、どんな道を選ぼうと自分で、選択決断し、承認し、自分を信じ、本当の自立の道を進み生き抜くことが出来たら、そして、その選んだ道がよかったと感謝しながら生きることが出来たら、きっといい人生になるのでしょうか。

廊下をすれ違ったり、道で出会った時に、相談を受けることがあります。そんな中でお答えしたことについて振り返ってみたいと思います。

Q. 集団に慣れていなくご迷惑をかけるのではと心配です

これから 親子共に自分探しの旅への出発ですね。

4月入園したばかりの子ども達は、お友達と人間関係をどう築いていってよいか理解出来ないところがあります。でも、最初、時には、泣き顔だった園児も、顔をおおった小さな手の5本のかわいい指一本一本の隙間から、笑顔がほころび、そこから、少しずつ笑顔が見られるようになりだんだんと視野と行動が広がってきます。

かかわり方がわからないお友達も、少しずつ上手にアンテナが伸ばせるようにもなります。まだ、相手の友達もそのアンテナの受け止めかたを学んでいる発達段階で、友達同士の葛藤も多い時期であり、預かる園側としてはとても、大変な時期ではありますが、それゆえ、子ども達が一番成長する私の一番大好きな季節です。



入園してからの3ヶ月、子ども達の成長はなんと素晴らしいものがあるでしょうか。大変ゆえに、成長振りを目の当たりに出来ることの愛情と幸せをいつも感じる4月です。そこに教育者としてのいきがいもあります。感動があります。喜びがあります。ですから、ご迷惑などと言う事はちっともありません。

それよりも、子どもとの新しい出会いとその成長と一緒に味わい感動を共に出来る機会を与えていただけることに感謝したい気持ちでいっぱいです。どうぞご安心下さい。



Q. 母親にベッタリなのですが？

ママにベッタリでというご心配ですが、今まで家にママといて、ベッタリなのがあたりまえ。これから、お友達のかかわりの中で、母子分離を学び、自立の道を歩いていくわけですから、何の心配もいりません。そして、自立はしっかり愛されて、受容されているとき可能なのです。ですからお子様は、その基礎はしっかり出来ているのです。案外、集団生活が楽しくてお友達が大好きになって、親離れが早くてママのほうさびしいなんてこともあるかも。

もちろん逆を心配されているのでしょうかけれど、起こった時に、悩んでも考えてもけして遅くは無いような気がいたしますが、どうでしょう？

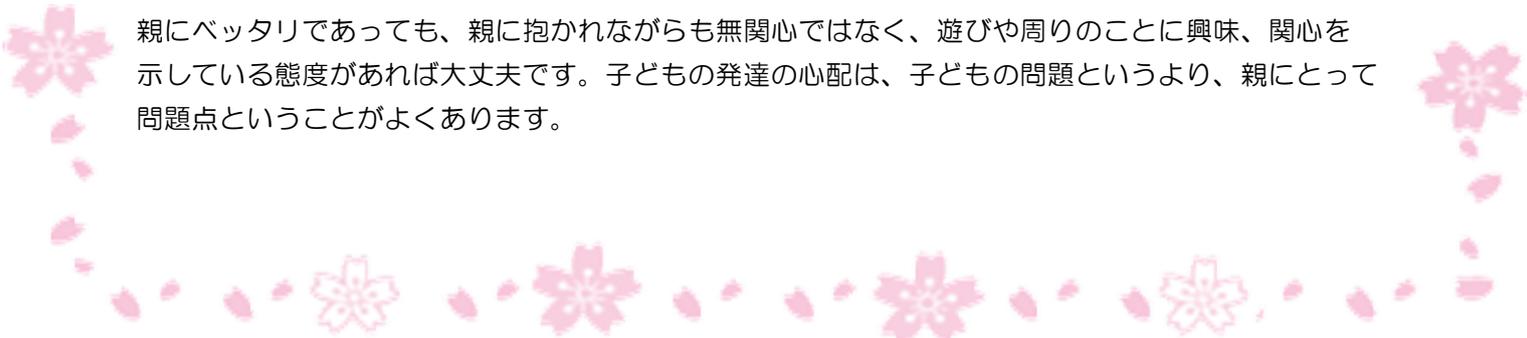
これから子育ては長い道のり、いろんなことが起こるでしょう。起こるか起こらないかわからないことを心配しては、子どもを送り出し見守ることは難しくなります。

未来を心配すると不安になり、過去を嘆くと後悔になります。今、元気に生きている我が子の笑顔に目を向けましょう、きっと勇気が湧いてくるはずです。もちろん準備や、できることはしっかり用意しておくに越したことはありませんが、起こるかわからないことは一旦おいて、「起きた時に、最善のことを尽くそう」と考える方が、我が子を、そして自分自身もゆったりとそして冷静に見ることが出来ます。入園されて、ご心配があるときは、いつでも相談にのります。だからその時一緒に悩んで、一緒に考え、共に子ども達と成長していきましょう。

そして、おそらく「そんな心配はありませんでした」となりそうな気がいたします。保護者の方の相談を最近受けていて感じる事は、「これは、何分、何回すればいいのか」とか「いつ出来れば普通か」「どのくらい親と離れていたらいいのか」といった、せっかちに答えをだす事が多くなってきているような気がします。

子どもは、色々な動作でサインを送っているのに、大人側が、そのサインをキャッチ出来ずに、子どもの発達を杓子定規に見ているためかと思えます。偏食、食事の量に始まり身体、運動、言語機能の発達、親離れなどのその心配がみられる時に考えてほしいのは、他の子と比べるのではなく、その心配事がその子にとってどうなのか、問題なのかという視点にたって考えて頂きたいのです。

発達のチェックも大切ですが、母子手帳の成長曲線に沿って上向きであれば、まずは安心です。親にベッタリであっても、親に抱かれながらも無関心ではなく、遊びや周りのことに興味、関心を示している態度があれば大丈夫です。子どもの発達の心配は、子どもの問題というより、親にとって問題点ということがよくあります。





情報過多の時代であって、知恵としてその情報を育児に活かしていきましょう。情報が多いためこそ、**情報を選択する目を養っていく、取捨選択の力が必要な時代である**と思います。

SNS やスマホからの情報が多過ぎる時代です。何が正しくて何が必要か、感覚を鋭くする必要と鈍感にする部分とを合わせ持つ必要があります。

その情報に振り回される事なく、まずは、**もっと自分の目を、耳を、心を傾けて子どもや情報をしっかり見て、聞いて、感じて、表して「ゆりの樹幼稚園」の大事にしている体感教育**ですね。そして、**何より自分の母親としての、五感力、肌感覚を信じましょう。**

親自身はどう感じ、どうしたいのかを冷静に自問できる、育児の一呼吸を持つ事が大切かと思えます。

人間は、最初は出来なくて、あたりまえです。子どもは、最初は甘えていてあたりまえです。「昨日」まで、出来なかった事を、一つずつ「今日」出来る様になることが人の成長、子どもの成長であり、素晴らしい事なのですから。

幼い一人一人の子ども達は、これから長い人生の旅を迎えるわけですが、良い旅のためには、良い旅仕度が不可欠のように、子ども達の豊かな実りある人生の旅仕度の期間が、今まさに、幼稚園の時代ではなかろうかと思えます。

そして、全ての子どもたちが旅仕度を終えてから、旅立つのではなく、すでに、その子どもなりの旅は始まっていると考えなくてはなりません。

個性の違う子ども達にとってそれぞれの旅の仕度は違うでしょう。違うから又おもしろくもあるのです。ですから、集団生活に入れて、親自身があせる事が一番マイナスです。

色々な事を子どもの為に考えたり、その発達の為の環境作り、雰囲気作りは、お母さん、お父さんの役目です。そして、子育ての仕方に正解はありません。色々な子育てがあって当然という心持ちで、楽しみながら育児をしていけたら、親も子もとても幸福な事だと思います。親子ともに、自立への道「自分探しの旅」は今始まったばかりです。子育てと共に「自分育て」も頑張りましょう。

「子ども達にとっての本当の幸せとはなにか」
「幼児のその年齢に不可欠な事は何か」を常に見すえながら、子ども達が今も素晴らしく、未来も素晴らしい「人生の旅」をどうしたら持つ事が出来るかを、人間の存在価値といった視点から、又、共に子育ての大切さと楽しさを感じながら手を取りあって、真剣に共に考えていきましょう。



この幼稚園で、子ども達が小さな幸せを見つけていく方法・・・
右手に、愛、左手に勇気を携えて未来の夢と希望に向かって、大樹のようにすくすく伸びることそれがゆりの樹幼稚園の教育方針であり、教育理念です。

『輝く太陽を目指しすくすく伸びる大樹のように、夢と希望に向かって愛と勇気を持って、この地球を自分の足で、自分のシナリオで歩いてほしい！』ゆりの樹幼稚園の願いです！！

——その願い通り子ども達が学童期を経て、やがて成人した時に、本園の体験を通した『共感と個性の自立の循環、思い出と感動の教育、知ることの喜びを知る体感教育』が芽吹き、どんな困難も乗り越えていく「真の生きる力」につながるように力を合わせていきましょう。

人生で意味がないことは何も無い、一見意味がないことに思われることも意味があるから起こっている、自分に解決できる問題だから起きているともいわれます。

人生に失敗はつきものです。人間だから、後悔もするし、不安になるけれど、失敗を無駄にするか、学びに変えるかは自分次第なのだと思えます。「失敗してはいけない」と思うと消極的になるし、挑戦しなくなります。「失敗」はチャレンジした証です。

「失敗」ではなく「うまくいかない事が見つかった」と5千回の失敗を繰り返しながらも電球の発明までたどり着いたエジソンのように、自分の気持ちに素直に(エモーションに気づくこと)、自分で選んで決めたことをやるぞと人に伝え(エンターテイメント)そのことを楽しみ(エンジョイ)、粘り強く、諦めない(エンパワメント)で、失敗から学ぶ姿勢をいくつになっても持って(エクセレント)な人生であってほしいと思えます。

幼稚園でもっとも大切なことは、子ども達、保護者の方、職員の教育と成長です。このことがなくては、教育の現場とはいえません。子どもと共に育つことが大切です。子どもの成長に負けない大人でいたいものです。その為には、「ゆりの樹幼稚園」の教育方針をもう一度、心に刻んで頂くことが大切です。

だからこそ、ゆりの樹幼稚園の教育があります。新年度にあたり、今一度教育方針の確認をして頂きたいと思えます。そして、しっかり理解していただき、子ども達のために手を取り合って、心を一つにして歩いていきましょう。まずは小さなはじめの一歩から・・・
失敗とやり直しを恐れずに・・・

今年一年も、子ども達、保護者の方、職員と共に歩き、驚き、響きあいながら、共に成長したいと思います。

愛

愛は心を受けると書きます。心を受けするためには高みにいるのではなく下に立っていなければ受けることができません。

下(under)に立つ(stand)続ければ understand 理解するという意味になります。

だから愛とは人も自分も受け入れ、理解すること

人は夢を育て、夢は人を育てる

親、教師は子どもを育て、親、教師は子どもに育てられる

